

# おおもとウィメンズクリニックレター Vol.15 15周年記念版



## 15周年に際して

院長 大本裕之

10周年がつい先日のようです。開院以来一緒にクリニックを作り10周年を共に祝い、次の十年を目指していた仲間を昨年失いました。残念です、感謝しかありません、その看護の理念はクリニックに生きています。

新型コロナ感染症は未だ終焉は見えません。オミクロン株、第六波と新たな警戒が呼びかけられ、制限と緩和の強弱はウィズコロナ下で続きそうです。日々大変な状況はありますが、公衆衛生、ワクチン接種、新たな治療薬など少し明るい兆しも見えてきているように思います。一診療所としては出来ることを行うと共にクリニック本来の診療に影響が出ないようにクリニックスタッフの健康を守り、患者様に不安のない医療体制・対策を怠らないようにしたい。特に今年度は、遅れていた子宮頸癌予防ワクチンの積極的勧奨の再開、不妊治療の一部保険適応など新たな国の施策が始まります。それに十分答えられるように医療体制を準備致します。

## コロナ禍の15周年

副院長 大本佳恵

約3年マスク生活を送る中で、クリニック開院15周年を迎えることとなりました。今現在、大変な思いで日々生活を送られておられる方もたくさんいらっしゃいます。精神的にも「コロナうつ」と戦っている方も多いです。私もその一人で立場上できるだけ気丈にはしているつもりですが、まさに「病は気から」で何度も負けそうになり、患者様には大変ご迷惑をおかけしました。

でもそのなかで、うれしいこともありました。私が研修医の頃にお産を取り上げた赤ちゃんが素敵な娘さんになって、私がお母さんの方の検診デビューをさせて頂きました。「お母さんから聞いて、ぜひ検診は先生に」と県外から来て下さいました。また、学校の講演で知られたのか「(私の事を)憧れの先生なんです。サインください。」と高校生の患者様が色紙とマジックペン持参で来られました。生まれて初めての経験で…照れましたがとてもうれしかったです。

この15年でクリニックネットワークはすごい勢いで広がっています。私も皆さんと一緒に笑ったり泣いたりしながら、最後は笑顔で「また今度ね」と言いたいです。これからもよろしくお願い申し上げます。

## 福山市ばら花壇コンクール 最優秀賞受賞

2021年は福山市明るいまちづくり協議会主催のばら花壇コンクールにて4度目の最優秀賞を受賞いたしました。ますます、ばら育成に励みます。



〒720-0832 福山市水呑町 444-7

TEL: 084-920-5155

<http://ohwc.jp>

# 2021年度 クリニックのデータ

2021年は新規登録患者様 704人、のべ 10108人の患者様に来院いただきました。昨年に続いて感染予防対策を図ったコロナ禍での診療でしたが、減少することなく2020年度同様に患者様に来院頂き、改めて地域医療における当院の責任を感じています。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術により患者様のQOLを保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかり子宮頸部上皮内腫瘍；高度異形成 14名、子宮頸癌4名、子宮体癌 2名、卵巣癌1名の患者さまが適切な医療を受けることが出来ました。子宮頸癌は一次予防として、福山市の高校1年生を対象とした子宮頸癌予防ワクチン（HPV ワクチン）の案内があり、接種者は急増しましたが、まだまだです。今年度から国による積極的勧奨再開により情報が広く伝わることを望めます。不妊症に対しては子宮卵管造影検査を40名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きかからないような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は指定医療機関様と連携を図り、よい成績を収めています。LEP製剤（低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均357シート処方です。他の選択肢としてジェノゲスト処方、子宮内黄体ホルモン放出システムも増加し、女性の生活改善に役立っています。



## スタッフより

（看護師）開院15周年、新しい仲間が加わり、爽やかな風が吹き始めました。「温故知新」開院からのクリニックの良さを継続しながら、新たな良さをプラスして、患者様に心地よい風が吹きますように、さらにパワーアップして参ります。

（看護師）勤続3年目、「ここで働いて良かった！」来院される患者様に「ここを選んで良かった」と思って頂けるクリニックを目指して、明るく、笑顔で患者様に向き合い、思いやりを大切に、暖かい雰囲気の中で、最良の医療を提供できる環境作りに力を注いで参ります。

（看護師）新しく一員となりました。自分自身、女性として身体面は勿論ですが、心と身体の繋がりを改めて感じ、学ぶことの多い日々です。不慣れなこともあると思いますが、日々成長できるよう努めて参ります、宜しくお願い致します。

（医療事務）昨年に続きコロナ禍ということもあり、患者様には当院の感染対策にご協力頂きありがとうございます。当たり前の日常を取り戻すまでには我慢の日々が続くかもしれませんが、自身の健康に注意しながら患者様に安心して来院して頂けるよう対応に努めて参ります。宜しくお願い致します。

（医療事務）昨年12月からクリニックの一員になりました。皆様から信頼される医療事務員になれるよう日々精進して参ります。コロナ禍が続いていますが、皆様が安心して来院頂けるように努力していく所存です。宜しくお願い致します。